

TOPIC 『第2回 和泉の地域医療を考えるシンポジウム』 開催のご報告

7月22日(木・祝)、和泉市立総合医療センター講堂において「第2回 和泉の地域医療を考えるシンポジウム」を開催いたしました。感染対策上、医療・介護関係者、行政、市民の各代表者様、計44名と少人数ながらも「和泉市におけるコロナワクチン接種」をテーマに、基調講演ならびにパネルディスカッションを通じて接種状況等についての共通認識を深めました。会の最後には、各代表者より「いまできる最善を尽くす」という力強い言葉とともに、第5波が懸念されるなか市民の健康を守るため“ALL和泉”でワクチン接種に取り組むことで意思統一を図りました。



和泉市 辻市長による挨拶



松下病院長による基調講演
『当院のワクチン接種について』



シンポジウムの様子



パネルディスカッション
(左から 松下病院長、府中病院 竹内病院長、
咲花病院 丹病院長、和泉商工会議所青年部 喜田会長)



パネルディスカッション
(左から 和泉市薬剤師会 大谷会長、和泉市歯科医師会 上嶋会長、
和泉市医師会 泉谷会長、和泉市 辻市長)

8月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ(休診案内)をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9:00～19:00まで
土曜日 9:00～13:00まで
(但し祝日・年末年始の休日は除く)
TEL:0725-41-3150 (直通)
FAX:0725-41-2513 (直通)

地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター(毎月1回発行)
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



私たちは 栄養管理室 です。

安全・安心な食事の提供をするため、食品の衛生管理に細心の注意を払っています。行事食を月1回企画し、季節を感じて頂けるよう工夫し、食事を楽しんでいただけるように心がけています。



病院の理念



- 1、患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に努めます。
- 2、患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
- 3、新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
- 4、思いやりのある医療人の育成に努めます。



消化器外科のご案内

～手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた低侵襲手術～

消化器外科は辻仲がんセンター長、澤田副院長の下、雪本、文元、坂下、安、そして私玉森の総勢7名の医師で消化器癌や消化器急性疾患に対する外科治療に臨んでおります。私はこの4月より赴任しましたが、主に上部消化管特に胃癌の外科治療、低侵襲手術を専門としております。今回この場をお借りして当院における新しい胃癌手術についてご紹介致します。

当院は昨年、手術支援ロボットda Vinci Xiを導入し泌尿器科手術に運用して参りましたが、4月より胃癌手術にも適用することとなりました。胃癌に対する腹腔鏡下手術は近年急速に普及し少ない出血量、小さい手術創などにより患者の術後早期回復が見込まれます。さらに癌手術はリンパ節郭清を必要とし、その点において腹腔鏡は拡大視効果により繊細な手技が可能でその有用性が期待されています。しかし鉗子の動作制限などがあり難度が高く、ガイドライン上は未だ一部の元々容易な症例のみしか腹腔鏡手術は推奨されていません。

手術支援ロボットは3Dハイビジョンカメラによる鮮明な立体画像、7つの関節による人間の腕より

多彩な動き、手振れの補正、スケーリング（手元の大きな動きをそのままの比率で縮小し術野で繊細な動きをすること）といった機能を付加することで従来の腹腔鏡手術の困難性を克服することが可能となりました。先進医療において合併症率が従来の腹腔鏡手術より低いというデータが得られ、2018年度より保険収載されました。

今後は高度進行癌に対する補助化学療法後手術や、切除不能癌に対するconversion surgery（化学療法により切除可能状態に持ち込んだ後の手術）の適応が広がることが予想されます。これらは腹腔鏡・開腹に関わらず手技が困難とされていますが、手術支援ロボットはこのような症例に対しても腹腔鏡手術への扉を開くと期待されています。一人でも多くの患者様に低侵襲かつ腫瘍学的に質の高い（癌を取り残さない）手術を提供できるよう努力して参ります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

消化器外科 部長 玉森 豊



和泉市立総合医療センター
消化器外科 部長 玉森 豊（たまもり ゆたか）

〈資格〉
医学博士 / 日本外科学会認定医・専門医・指導医 / 日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 / 日本消化管学会胃腸科専門医
日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器一般・胃） / 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本内視鏡外科学会ロボット手術認定プロクター指導医 / 日本食道学会食道科認定医
日本臨床栄養代謝学会認定医 / 日本PTEG研究会PTEG取扱い暫定認定医・指導医
PEG・在宅医療学会専門胃瘻造設者・専門胃瘻管理者・認定胃瘻教育者 / 日本乳癌学会乳腺認定医

外来担当医表

※受付時間は午前8:00～午前11:30

月	火	水	木	金	土
雪本（初診） 澤田	文元（初診） 澤田	坂下（第1,3,5週） 高田（第2,4週）	澤田（初診） 雪本	玉森（初診）	交代制

主な対象疾患

- 食道癌、胃癌、大腸癌（結腸癌・直腸癌）、肝癌、膵癌、胆嚢癌などの消化器癌
- 虫垂炎、胆嚢炎、絞扼性腸閉塞、憩室穿孔、潰瘍穿孔などの急性腹症
- 胆石、総胆管結石、鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア、痔疾（いば痔・切れ痔・痔瘻）、腹部外傷

2020年実績

手術件数（2020/1/1～2020/12/31）
※（ ）内は、腹腔鏡手術 計 532（272）例

食道・胃疾患			肝胆膵疾患		
	CAP-000 REC J-02-4131	36（14）例			107（88）例
下部食道切除術	1（0）例		2区域以上肝切除	0（0）例	
胃全摘術	8（1）例		2区域未満肝切除	10（1）例	
幽門側胃切除術	16（8）例		その他の肝臓手術	1（0）例	
噴門側胃切除術	2（2）例		膵頭十二指腸切除術	6（0）例	
その他	9（3）例		膵体尾部切除術	2（0）例	
大腸疾患			脾臓摘出術	1（1）例	
結腸癌	45（27）例		胆嚢摘出術（総胆管切開含む）	83（82）例	
直腸癌	22（18）例		その他	4（4）例	
その他	22（7）例		ヘルニア		
小腸・虫垂疾患			鼠経・大腿・腹壁ヘルニア修復術	62（51）例	
小腸腫瘍	2（0）例		肛門疾患		
虫垂炎	62（60）例		痔核・痔瘻手術	25	例
虫垂腫瘍	2（2）例		その他の肛門手術	6	例
その他	16（2）例		試験開腹術		
その他手術				5（3）例	
	109（0）例		下肢静脈術		
				11	例

消化器外科の特色

- 当院では**消化器癌**の治療を施行するうえで必要なすべての専門的な診療科（消化器内科、腫瘍内科、放射線治療科、緩和ケア科）がそろっており、その進行具合や患者さまの状態にあわせて、各科が専門的な治療を提供できる体制にあります。当院では毎週月曜日に各科が集まったがん診療チームを開催してディスカッションを行い、がん患者の治療方針を決定しています。
- 良性疾患・悪性疾患に関わらず、手術の低侵襲化を目的に**腹腔鏡手術**を積極的に行っております。
- 令和3年4月より、胃癌手術に対して**ダヴィンチXi®サージカルシステム**を使用した**ロボット支援手術**を導入しています。

ご紹介いただく先生方へ

今後も救急医療、かかりつけ医の先生方と連携を取りながら、病診あるいは病病連携をさらに進めてまいります。大阪府がん診療拠点病院として、がん診療地域連携パスを進め、かかりつけ医の先生方との連携で安心して患者さまに治療を提供して参りますので、ご紹介の程宜しくお願い致します。

